

▼ 第4回光駅拠点整備デザイン会議(書面開催)での意見の概要と市の考え方

No.	意見等概要	市の考え方
1	<p>南北自由通路について</p> <p>① 壁面の構造はどうなるのか</p> <p>② 想定するエレベーターの大きさはどのくらいか</p> <p>③ エレベーターが使用できない場合に、自転車の代替の往来手段(スロープ、新たな踏切等)が必要ではないか</p>	<p>① 南北自由通路の壁面を含めた具体的な構造は、今後の設計段階において検討します。</p> <p>② エレベーターは、利便性向上などの観点から自転車の搭乗が可能なサイズを想定していますが、具体的な仕様などは、今後の設計段階において検討します。</p> <p>③ 自転車の代替の往来手段として、新たな踏切の設置は困難ですが、通路内での工夫も考えられますので、今後の設計段階において検討します。</p>
2	<p>南口駅前広場について</p> <p>① 展望デッキについて、交流を生み出す施設や機能の設置は。単なる広いスペースにならないか</p> <p>② イベント出店等を考えるなら、水と電源が必要では</p> <p>③ 展望デッキに屋根設置の考えはあるのか</p>	<p>① 交流広場及び展望デッキには、ベンチやイス、テーブルなどを設置し、市民や利用者の皆さんの交流や待ち合い場所として、また、イベント等の開催場所としての活用を想定しており、これらを整備することにより、例えば、交流広場と一体的に活用し、高低差を活かした立体的な空間利用など、市民団体等の創意工夫やアイデア次第で様々な可能性が広がり、にぎわいや個性的な魅力が生み出せる空間となることを期待しています。</p> <p>② 具体的な設備等については、今後の設計段階において検討します。ご意見は参考にさせていただきます。</p> <p>③ 必要性も含め、今後の設計段階において検討します。</p>
3	<p>整備イメージ図について</p> <p>① 北口ロータリーについて、現行の信号交差点から進入し、一方通行で西側から出ていく形にできない理由を教えてください。130m程度あれば信号設置は可能では</p> <p>② 南側の展望デッキの位置を交流広場側にずらした方が良いのではないか</p> <p>③ 展望デッキからの眺めを想定した北口駐輪場設置予定位置から海側の眺望写真を示してほしい</p> <p>④ 展望デッキの利用方法は</p>	<p>① 新たな交差点を設けようとする場合、警察庁が示す信号機間の距離(原則は150m以上)の基準だけでなく、交通量や滞留長なども踏まえた円滑な交通処理の必要性や安全性の観点から、できるだけ交差点間隔を大きくとる必要があり、ご意見のように、一方通行で既存の信号交差点に近接して新たな信号交差点を設けることは、適切ではないと考えています。</p> <p>② 展望デッキは、交流空間や視点場としての機能に加え、駅舎前面通路の屋根としての機能も兼ねており、このような配置としています。交流広場と展望デッキの一体性をより高め、さらに、より良い眺望を確保する趣旨のご意見ですが、事業費の面も含め、今後の設計段階においてどのような工夫ができるか検討します。</p> <p>③ 実際の展望デッキからの眺めとは位置や高さが若干異なるかもしれませんが、海へとつづく「なぎさへの道」の先に松林を望むことができ、光駅の大きな特徴である「海との近接性」を意識した眺望となる見込みです。</p> <div data-bbox="724 1350 1353 1697" data-label="Image"> </div> <p>※旧シルバー人材センター跡地の建物の屋根より撮影したもの</p> <p>④ 展望デッキは、ベンチやイス、テーブルなどを設置し、市民や利用者の皆さんの交流や待ち合い場所として、また、イベント等の開催場所としての活用を想定しており、これを整備することにより、例えば、交流広場と一体的に活用し、高低差を活かした立体的な空間利用など、市民団体等の創意工夫やアイデア次第で様々な可能性が広がり、にぎわいや個性的な魅力が生み出せる空間となることを期待しています。</p>

▼ 第4回光駅拠点整備デザイン会議(書面開催)での意見の概要と市の考え方

No.	意見等概要	市の考え方
4	<p>概算事業費について</p> <p>① 市が考える予算に対して、概算事業費の占める割合はどの程度で、それは市としては高いか、安いか</p> <p>② 仮設費用等を除いたハード自体の金額は</p> <p>③ 海側へつながる通りも含めて整備する計画はあるのか。整備イメージ図内にもどのようにつながっていくのか示してほしい</p>	<p>① 本基本計画に示す概算事業費は、検討過程において事業内容の見直しを重ねた上で設定しており、現在も可能な限り有利な事業財源の確保に向けて検討していますが、基本的には、お示ししている概算事業費以上の規模での事業実施は難しいと考えています。なお、この事業費は、市として住民の福祉の増進を図るために必要な費用であり、金額の高低について申し上げることはいたしかねます。</p> <p>② 類似事例等を用いて算出した概算費用であるため、現時点で算出することは困難です。</p> <p>③ 基本構想では、駅南口から虹ヶ浜海岸までをつなぐ軸を「なぎさの景観軸」として位置づけ、「海」との一体感や連続性を演出し、シンボルとなる景観づくりを検討することや、ソフト面を中心に多様な主体が協働・連携し、回遊促進の中核を担うことを掲げています。これらは、本事業整備後の中・長期の取組みとして、位置付けています。</p>
5	<p>南口ロータリー東側から流入する通過交通を遮断し、車のための駅前ではなく、人のための駅前の整備を</p>	<p>南口ロータリー東側からの通過交通対策については、将来的な瀬戸風線開通も見据え、地元関係者や公安委員会等関係機関と協議しながら検討する考えをお示ししています。</p> <p>ご指摘の他の道路への影響の観点も十分に踏まえながら、検討します。</p>
6	<p>交流広場について</p> <p>① にぎわいの創出「施設」ではなく、交流可能な「広場（公園的空間）」の整備を</p> <p>② 交流広場の位置は交番の後ろが妥当か。また、専門家の意見も加え、プロポーザル形式のコンペを行ってはどうか</p>	<p>① 交流広場では、イベント等の開催や市民等の交流の場として活用できるオープンスペースを設けるとともに、光駅周辺に不足している商業機能（飲食機能を含む。）や多世代交流機能など、民間活力の導入により、にぎわいの創出を目指す考えをお示ししています。</p> <p>② 交流広場の位置については、関係機関と協議しつつ「なぎさの景観軸」沿いであることや、ロータリーや駐車場といった他の施設配置などを総合的に勘案して、現在の位置が最も妥当な位置と判断しました。</p> <p>また、今後の発注方法については、設計段階において適切な方法を検討します。</p>
7	<p>視点場（展望デッキ）の整備よりもロータリーなど地上部分の整備に予算を活用しては</p>	<p>展望デッキは、海へと続く「なぎさへの道」の先に松林を望むことができ、光駅の大きな特徴である「海との近接性」を意識した眺望となる予定です。景色を楽しむだけでなく、交流や待ち合いの場所としても利用いただくことを想定しており、本拠点整備において独自の魅力を生み出す必要な施設であるため、ロータリーなど地上部分とあわせ、展望デッキを整備したいと考えています。</p>
8	<p>異存なし</p>	
9	<p>スマートシティへの取組をどう考えているか</p>	<p>整備の方向性の一つに「便利、快適、スマートに 利便環境づくり」を掲げ、ICT化の進展に的確に対応し、誰もが利用しやすく、時代に即した利用環境を実現していく考えをお示しているように、国が進めるスマートシティの取組みについては、十分に注視していく必要があると考えています。本市におけるニーズや社会情勢等を鑑みつつ、本地区においてどのような取組みが可能で効果的なのか、今後の調査研究課題と捉えています。</p>
10	<p>南口駅前広場において、どのような人の流れを創出しようと考えているのか。民間活力を想定する駐車場、交流広場は駅より西側にあるため、東側にある既存の商店街までにぎわいを拡大するのは困難ではないか</p>	<p>南口駅前広場と東側の商店街だけではなく、観光資源である虹ヶ浜海岸も含めた一体の面的な回遊を生み出したいと考えており、まずは、光駅周辺地区の中核となる駅近接エリアににぎわいを創出していくことを考えています。</p> <p>また、こうした回遊を促進していくためには行政の取組みだけでは限界があるため、今後、周辺の民間事業者と一体となって取り組んでいく必要があると考えています。</p>

▼ 第4回光駅拠点整備デザイン会議(書面開催)での意見の概要と市の考え方

No.	意見等概要	市の考え方
11	民間活力を想定したにぎわいの創出とは具体的にどのようなものを想定しているか	例えば、マンションなどの住機能や、利用者の利便性や地区の魅力を高めるお店などの商業機能（飲食機能を含む。）、子どもから大人まで幅広い世代の交流を促進する多世代交流機能など、駅前ににぎわいを創出する新たな施設の可能性について、民間活力の導入を前提に検討します。

▼ 第4回光駅拠点整備デザイン会議でのアドバイザーからの助言等

No.	助言等概要
1	<p>委員等のみなさまからのご意見について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個別の施設に対するご意見が出され、書面開催の会議として、ある程度の成果が得られたと思う。 ・書面開催では、意見を交換する機能が不足するため、それぞれの単発的な意見にとどまってしまうことが残念に思う。 ・今回の委員等のみなさまからのご意見も踏まえた上で、再度、ご意見を寄せていただきたい。（具体的には、それぞれの立場から利用者ニーズを掘り起こし、かつ、それぞれの立場からの関わり方について、より具体的な提案に結びつく意見をいただきたい。）
2	<p>事務局側へのお願いについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員等のみなさまからのご意見のうち、事務局側での検討が必要な項目について、段階的に検討し、説明を補足していただきたい。（各種基盤施設や北口駅前広場の物理的な限界等の補足、概算の事業費など） ・ソフト施策の部分については、ハード整備と歩調を合わせた提案、検討を加えていただきたい。 ・交通処理に関わる課題や制約をより明確にし、できることとできないことの区別がつきように提示していただきたい。